

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】平成25年11月28日(2013.11.28)

【公開番号】特開2013-53347(P2013-53347A)

【公開日】平成25年3月21日(2013.3.21)

【年通号数】公開・登録公報2013-014

【出願番号】特願2011-192600(P2011-192600)

【国際特許分類】

B 22 F 1/00 (2006.01)

H 01 B 5/00 (2006.01)

C 25 C 1/12 (2006.01)

【F I】

B 22 F 1/00 L

H 01 B 5/00 H

C 25 C 1/12

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月15日(2013.10.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

レーザー回折散乱式粒度分布測定装置によって測定される比表面積(「球形近似比表面積」と称する)に対するBET一点法で測定される比表面積(「BET比表面積」と称する)の比率(BET比表面積/球形近似比表面積)が6.0~11.0であることを特徴とするデンドライト状銅粉。

【請求項2】

走査型電子顕微鏡(SEM)を用いて銅粉粒子を観察した際、一本の主軸を備えており、該主軸から複数の枝が斜めに分岐して、二次元的或いは三次元的に成長したデンドライト状を呈し、かつ、主軸の太さaが0.3μm~5.0μmであり、主軸から伸びた枝の中で最も長い枝の長さbが0.6μm~10.0μmであるデンドライト状を呈する銅粉粒子が、全銅粉粒子のうちの80%以上を占めるように含有する請求項1記載のデンドライト状銅粉。

【請求項3】

上記のデンドライト状を呈する銅粉粒子は、主軸の長径Lに対する枝の分岐本数(枝本数/長径L)0.5本/μm~4.0本/μmであることを特徴とする請求項2記載のデンドライト状銅粉。